

高い放射線量を測定。 共産党市議団、市へ追加の要請

日本共産党羽村市議団は、11月7日、羽村市に対し、放射線対策についての追加の要請をおこないました。以下、要請文をお知らせします。

公共施設等の放射線量の総点検をおこなうことなどを求める要請書

2011/11/7 日本共産党羽村市議団

日々の業務ご苦労様です。

さて、私たちの放射線量独自調査で、以下に示すような高い値が測定されています。これらの場所は、雨水が集まるなどの条件にある場所で、ここ以外にも多くの同様な条件の場所で高い値が検出される可能性があります。

そのため、以下のような対策を早急にとる必要があると考え、要請いたします。

- 1、今回指摘した場所については、早急に除染をおこなうこと。
- 2、市内の公共施設等の放射線量を総点検すること。特に、雨水や落ち葉が集まる場所など、線量が高い可能性が考えられる場所は徹底した調査をおこなうこと。
- 3、線量が高い場所などの除染をどうすすめるのか、その方針を定めること。
- 4、市民からの情報提供を積極的に募ること。
- 5、測定値は、ホームページだけでなく、広報はむらでも公表すること。

名称	番地	場所	測定値 μ Sv/h (地上5cm)
羽村市第一被災者一時宿泊所	小作台2-15-6	雨樋下・地面	0.630
小作本町会館・研修所	羽西3-5-17	雨樋下・地面	0.347
小作台西町内会防災倉	小作台5-17	雨樋下・地面	0.532

羽村民報 2011年11月20日 発行 羽村民報編集委員会
No.1026 責任者 野崎 袁
日本共産党羽村市委員会、以上の報道をおこないました。 電話 579-2132

測定器：堀場製作所 Radi (PA-1000)
国際放射線防護委員会は、年間1ミリシーベルト=1時間0.24マイクロシーベルト(自然放射線量をのぞく)以下に抑えることを勧告しています。



長・計4次)冊子

羽村市長期総合計画特別 委員会 共産党市議団が質疑

来年度から10年間の羽村市の方向性を定める「長期総合計画(第5次)」。

これを審議する市議会特別委員会が11月8日~14日におこなわれ、活発な審議が交わされました。共産党市議団の2名は以下の点などについて指摘をおこないました。

これらの審議をうけ、計画は12月6日から始まる12月定例会に議案として提出されることとなります。

< 共産党市議団が指摘した点(一部) >

基本理念を「自立と連携」としているが、「市民は行政に頼るな」と聞こえはしないか。市民それぞれの自立にむけて、行政は積極的に役割を果たす、と明示すべきだ。

放射線測定を継続することが記載されているが、放射線量の高い場所を除染していくことを、方針にはっきり位置づけるべき。

「横田基地の騒音被害などを増大させない」との方針だが、10年前の計画では掲げられていた「基地の縮小」から大きく後退しているのでは。その方針を明記すべきだ。



羽村二中で、放射性物質についての特別授業おこなわれる。(11/10)



次回の無料法律相談は12月15日(木)午後1時半からです。電話でお申し込みください。

- ・鈴木たくや 080-1058-9450
- ・倉田まなぶ 080-3460-0064 まで。



11月11日 西多摩地区議長会議員研修会に参加。「安全・安心なまちづくりを考える8つの問題提起」というテーマによる講演。地域にあわせた安全・安心の確保の必要性、地方自治法に規定されている「住民の福祉(幸福感)の増進」を目的としていく事など、なるほど、と頷きながら聞いた。(倉田)

11月11日 「ベネズエラ文化週間」の催しで、ベネズエラのバンド、カラカス・シンクロニカのコンサートを聞きに立川アミューへ。素朴な音楽かと想像していたが、とんでもない。民族音楽とジャズが混ざり合い洗練度は高い。ロック好きのため米英に目が向きがちだが、世界は広いな、豊かだな、と実感した。(鈴木)